

The British Museum



世界中のお話がつまった
大英博物館展に行こう！



100

のモノが語る 世界の歴史

大英博物館展

The British Museum Exhibition: A History of the World in 100 Objects



2015年4月18日(土) - 6月28日(日) 東京都美術館 (東京・上野公園) 中学生以下無料

東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM



開室時間: 9:30-17:30 *毎週金曜日は9:30-20:00 (入室は開室の30分前まで) 休室日: 月曜日、5月7日(木) *ただし5月4日(月・祝)は開室
主催: 東京都美術館 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、大英博物館、朝日新聞社、NHK、NHKプロモーション
展示会公式ホームページ <http://www.history100.jp> お問い合わせ 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

見る ↔ 描く もっとよく見てみよう!

この展示会で作品品を見ながらお話がきける「とらぼード」を展示室の入口で中学生以下の方に貸出しています。じっくりよく見て描くと新しい発見があるかもしれません。会期中にはボードを使ったワークショップも計画中! 詳細はウェブサイトでお知らせします。

美術館の展示室でのルールを守ってね!

- 1. 展示室では走らない。
- 2. メモを取るときはエンピツで。
- 3. 作品にさわらないでね。
- 4. 話すときは静かな声で。

「モノ」を見つめると、 たくさんの「物語」が聞こえてくる・・・!



私が
みなさんを
ご案内します



大英博物館とは？

大英博物館は1753年にオープンした、英国のロンドンにある博物館。200万年前から現代まで、世界各地でつくられた約700万点を超える作品が所蔵されています。この展覧会では、その中から選ばれた100のモノが「人類の創造の歴史」を語ります。

紀元前2500年頃、イラク ウルスタンダード

POINT 1 王を中心に人々が椅子に腰かけ、宴会を楽しんでいます。ひととき大きく描かれているのが、都市・ウル王の杯を手に、音楽に耳を傾けながら、王と人々とはどんなことを話していたのでしょうか。



豪華のような楽器を演奏している人もいます

POINT 4 この面のテーマは「平和」。反対の面は「戦争」。約4500年前、これは一体何のために作られたものなのでしょうか？ その真相は今も謎のまま・・・。



みなさんも考えて
みてください。



- 青色はラピスラズリ、アフガニスタン産
- 白色は貝殻、ペルシャ湾産
- 赤茶色は赤色石灰岩、インド産の説あり

大英博の有名な謎の「箱」



イギリスの考古学者・ウーリーが1920年代に古代の都市ウル(今のイラク南部)を発掘し、王家の墓でこれを見ました。この作品にはどんなお話がまつまっていますか？

POINT 2 王にささげるために、様々なものが運ばれています。



動物を運んだ人のなか
に魚を持った人もいます



POINT 3 素材に注目！
どんな色？
どこから来たの？

100のモノが語る「世界の歴史」、お話はまだまだ続く！



作品番号 36
イスラム以前の神への「手」がかり
アラビアの手形奉納品

血管がうきで、小指が少し曲がっている！人の右手を型どりして作られたらしい、土地の神へのささげもの。

100-300年

作品番号 62
映画でも有名なこの駒のルーツは？
ルイス島のチェス駒



映画「ハリー・ポッター」の第1作にも登場！セイウチとイノシシの動物の牙やクジラの歯が素材です。

1150-1200年



作品番号 68
中世ヨーロッパのスマート的存在
ヘブライ語が書かれたアストロラーベ

とても便利な道具！これがあれば、時間や方位、天体観測ができ、自分が地球のどこにいるのか調べることができるのです。

1345-1355年



作品番号 97
銃から生まれた平和のシンボル
銃器でつくられた「母」像

銃の色々な部分を組み合わされて、「母」という作品になっている！モザンビークの内戦のあと、国内に残された銃をつかった平和プロジェクト。

2011年

1515年、ドイツ・ニュルンベルク デューラー作「犀」

POINT 2



このサイは、1515年、インドの国王がポルトガルの国王に贈ったものです。遠くインドからはるばる船で運ばれてきたこのめずらしい動物は、ヨーロッパで評判になりました。デューラーは、ドイツに届いたサイのスケッチなどをたよりに、このサイを想像で描いたのです。

版画界の巨匠が想像で描いた大ヒット作



POINT 1 足のつま先のかたちが、動物園にいるサイとちよつと違う。それに、こんな鱗みたいな皮膚だったかな...？首のつけねには、実際にはないはずの小さな角が生えている。



デューラーが住んでいたのは、世界で最初の印刷工房ができたドイツの都市ニュルンベルク。彼は版画家の巨匠として知られていたんですよ。



じつは、ドイツ人の画家・デューラーは、サイを一度も見ることがありませんでした。でも全体的に見ると、サイの特徴をよくとらえていますね。

POINT 3 「版画」に注目！当時、何千枚も売れた！
この作品は、デューラーが生きている間だけで4000枚から5000枚売れた大ヒット作品でした。写真のない時代、想像で描いたサイの版画が何千枚も印刷され、実際の姿として広まっていたのです。



展覧会図説 1. 緑の塔の鐘 2. ビーグル号のクロノメーター 3. トナカイの角に彫られたマンモス 4. ヴィクトリア朝のティンセト(砂入れ) 5. 両面式のカメラ 6. 龍王のタケノコの軍用特務機 7. ルイス島のチェス駒 8. ウルのスタンダード 9. 古代エジプトの棺 10. 銃器で作られた「母」像 11. 古代エジプトの化粧パレット 12. ヘブライ語が書かれたアストロラーベ 13. アラビアの手形奉納品 14. シェワの影絵人形 15. 青花皿 16. カラの水差し 17. 現代ガープの箱の構造 18. ガンテラの仏像 19. コアのキリスト像 20. 金製の半月型眼鏡 21. シェアラの鐘 22. ノクソンの鏡装飾品 23. ミヌス文明の福牛鏡 24. パプアニューギニアの扇 25. クマラクア1世の金貨 26. モチェ文化の壺

ジュニア向けコンテンツ

こちらもご利用ください(有料)
ジュニア版 音声ガイド
ミニブック

もっと届け、大切なこと。 90分

日曜美術館

エテレ番組日:
午前9-10時
(再) 毎週日曜日:
午後8-9時
ネット・シーンの本
報の放送と異な